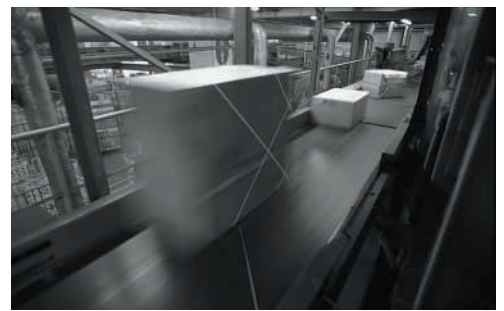


## 特集 宅急便が行く

ヤマトが1日にお預かりする宅急便は数百万個。  
その一つ一つを、全国を網羅するネットワークに乗せて、  
お約束通りの時間帯にお客様にお届けしています。

2003年度からモーダルシフトを導入した  
東京 岡山間の荷物の流れをご紹介します。



お客様

4:00 P.M.



お客様から荷物をお預かり



ポータブル・ポスに荷物の情報を入力、センターのコンピュータ経由でホストコンピュータへ転送(以降、このホストコンピュータが配達までの荷物の情報を管理します)。ポータブル・ポスから出力した着店コードのシールを荷物に貼付します。

2004年2月より、ポータブル・ポスに使用している大量の乾電池を資源として有効活用し、廃棄物を削減するためにゼロエミッションリサイクルに取り組んでいます。また、以前から実施してきた宅急便妥票のリサイクルについても拡大を図り、ゼロエミッションを目指しています。(詳細は P34)



集配車を使わず台車による集配

台車走行時の騒音抑制のため、超静音台車への切り替えをすすめています。(詳細は P31)



センター

6:00 P.M.

地域の荷物を集配する営業所  
浅草橋3丁目宅急便センター  
(東京都台東区)



車両台数を抑制し、地球温暖化・大気汚染防止を図るため、市街地や住宅密集地では、集配車を使わず台車で集配を行うサテライトセンターの設置を拡大しています。(詳細は P23 ~24)



センターに到着

ヤマトが荷物の輸送に使うロールボックスパレットは、現在、省エネルギー・低騒音の新型への切り替えをすすめています。(詳細は P29)



荷物を配達先の地方別にロールボックスパレットに収納します



岡山行きロールボックスパレット



東京主管支店  
浅草橋3丁目宅急便センター  
センター長 大原 力

2004年4月にサテライトセンターとしてオープンしました。台車の集配はお客様にとっても喜んでいただいています。迷惑駐車もないし、排気ガスも出ないし、一方通行を気にしないでいいので、呼ばればすぐに飛んでいきますから。ドライバーも駐車違反や交通事故の心配が減って、気持ち的に楽です。

車を降りたことで、お客様との距離も近くなりました。「台車でたいへんだね」とか「暑いね」とか、よく声をかけていただきます。荷物を持ってこられるお客様も多いので、店の前は毎日掃除し、カウンターにも雑巾掛けを欠かさず、気持ち良く来店いただけるよう努力しています。地域のお客様とのつながりを大切に育てていきたいですね。

サテライトセンターは、数多くの拠点を持つヤマトだからこそ可能な試み。台車仲間がどんどん増えていくのを楽しみにしています。



ベース行きのトラックが到着。まず、折り畳んだパレットを下ろし、



仕分けした荷物をパレットのまま積み込みます



ベースに向けて出発

# ベース

センターに集まった荷物を  
集約する大きなターミナル  
東京ベース店(東京都江東区)



## 8:00 P.M.

特集  
宅急便が行く



東京主管支店  
東京ベース店  
副ベース長 関根 豊

ダイヤの基本設計はセンター発19時、ベース発21時ですが、お客様のニーズに合わせて、遠方へは早い出車、近隣へはもっと遅くまで集荷可能とするなどの工夫をしています。

ベース作業の最重要項目は、出車時間を守る、荷物を間違えて仕分けない、ていねいに扱うの3つです。港や貨物ターミナルに近いという利点を生かして、モーダルシフトへの取り組みにも力を入れています。岡山線以外にも、当ベースと九州線、大阪線、札幌線についてはJR、千歳に持ち込んでいる分についてはフェリーを使っています。私達の第一の使命は、お客様からお預かりした荷物を安全・確実にお届けすることですから、それをクリアできる範囲で、今後も積極的に、取り組みの拡大に努めていきます。また事故防止のため、全員が必ずヘルメットをかぶることとしています。この夏の暑さの中で、かぶって作業をしていると本当に暑いんですが、そういったところから安全への意識付けをすすめていきたいと思っています。



午後6時から8時にかけて、各センターからの便が続々と到着



荷台から荷物を詰めたロールボックスパレットを選び出します



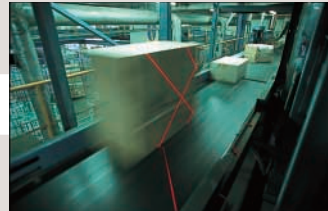
コントロール室。ベースにおける全作業を円滑にするための調整を行っています



パレットから取り出した荷物を自動仕分け機のベルトコンベアに乗せていきます。1階には2ラインがあり、1時間に約2万個の荷物を捌いています



キーヤ室。ベルトコンベアで流れてくる荷物に貼られた地域No.を入力



レーザースキャナにより荷物情報を読み取って入力



コンテナ専用トラックが到着



振り分けられてきた荷物を、さらに細かい地域別に仕分けてロールボックスパレットに収納



読み取った情報によって、荷物は配達地域ごとのコンベアに自動的に振り分けられています

4~10tトラック  
による輸送



岡山行きのロールボックスパレットを積み込みます



貨物ターミナルに向けて出発

# 東京貨物ターミナル駅

(東京都品川区)

## 10:30 P.M.



大型荷役機トップリフターでトラックからコンテナを引き上げ



コンテナ専用トラックによる輸送



コンテナ列車に積載



コンテナ列車で輸送(東京 岡山)

CO<sub>2</sub>排出量削減と安全性向上に効果的なエコドライブへの取り組みを強化し、2004年4月よりヤマトグループ全体で「エコドライブ運動」を展開しています(詳細は P27~28)

省エネルギーや大気汚染防止、道路渋滞の緩和を図って、鉄道やフェリーを有効利用するモーダルシフトへの取り組みをすすめています。(詳細は P25~26)



機関車(構内輸送用)を連結して出発



東京コンテナ支店  
支店長 坂元 晃



近年、幹線輸送としての鉄道への再評価が高まってきました。スピード規制・環境規制強化などの社会的背景と、1987年の民営化以来の取り組みで、トラックと遜色のないダイヤに近づいてきたことが大きな要因と思われます。

当支店は、鉄道輸送の形態をお客様に販売していく通運事業を行うとともに、宅急便の運行を鉄道の窓口として担っています。宅急便増量に伴って、年々鉄道そのものの利用価値が高まり、所要時間など宅急便の輸送レベルと鉄道ダイヤの輸送レベルがうまくマッチングする部分については、どんどん利用をすすめています。

また、地方に偏在するロールボックスパレットの返送や、発送までに時間があるメール便など「急がない」荷物のシフトにも積極的に取り組んでいます。トラック・アンド・レール—レールとトラックを結んでいきますよという考えから、主要の貨物4駅の構内に倉庫をお借りしました。輸送は鉄道、保管は駅の中、そこから各ベースまではトラックで運んでいます。

2003年度はハウス食品さんと連携して関東~九州間の極めて効率的なモーダルシフトを実現しました。今後もさまざまにネットワークを広げながら取り組みをすすめていきたいと思っています。

# 西岡山貨物ターミナル駅

(岡山県岡山市)

翌日 9:00 A.M.



コンテナ列車到着



トップリフターでコンテナを列車からトラックに積み替え



ベースに向けて出発



コンテナ専用トラックによる輸送

# ベース

岡山ベース店  
(岡山県岡山市)

9:40 A.M.

ベースにはたくさんの運行車(長距離用大型トラック)が発着しています



コンテナ専用トラックが到着



自動仕分け機によって地域ごとに振り分けられています



荷台からロールボックスパレットやクール便のクールボックスを運び出します



倉敷の担当センター行きロールボックスパレットに収納



長距離輸送の間、お客様の荷物を大切に保護するロールボックスパレットやクールボックスについてはリサイクルを実施し、再利用をすすめています。(詳細は P35)

センターに向けて出発

トラックによる輸送

# センター

美観地区宅急便センター  
(岡山県倉敷市)

11:30 A.M.



フォークリフトでロ  
ールボックスパレ  
ットを運び出します



各集配車の担当地域ごとに仕  
分けしていきます

集配車に積み込み、配達に出発

ハイブリッド車  
で配達



2002年からの検証  
の結果、ハイブリッド  
車を当社の中心的な低  
公害車と位置づけ、  
2003年度より本格導入  
をスタートしました。  
2012年度には20,000  
台のハイブリッド車導  
入を目標としています。  
(詳細は P21~22)



岡山主管支店  
美観地区宅急便センター  
センター長 福島真一



倉敷の美観地区は年に100万人もの観光客が訪  
れる観光地。2004年8月までに岡山主管支店に導入さ  
れたハイブリッド車は6台ですが、その1台が当センターに  
配備されたのは、美しい街並みに相応しいとの判断があった  
からではないでしょうか。

これから導入がすすんでいくということで、セールスドライバ  
ーは皆関心を持って機能などを確認しています。スタート時や走  
行中の音が静かなのがいいですね。なにより、地球温暖化ガス  
の削減というのは、たくさんの車を使って仕事をするヤマトが必  
ず取り組んでいかなければならない課題だと思いますから。

今は、環境に関心のあるお客様も多く、「この車は何？」  
とよく聞かれます。勉強して、一応ちゃんとお答えする  
ようにしています。「ヤマトさんは環境にもやさしい  
んだね」と言われて、ちょっと誇らしい気分を  
味わったりもしています。

# お客様

2:00 P.M.



配達先のお客様のお店に到着



約束の時間通りにお届けしました

地球温暖化・大気汚染防止のため、全車にわ  
たるアイドリング・ストップ(駐車時エンジ  
ン停止)の徹底をすすめています。(詳細は P27)